

## 事業所職員向け

## 児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	82%	18%	人数が一定でないので、臨機応変に外遊びと組み合わせている。
	2 職員の配置数は適切であるか	73	27	支援が多く必要な児童が多いと、足りないと思うこともある。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	73	27	施設の特徴として、あえてバリアフリー化はしていない。必要に応じてスロープを使用したりして対応している。現児童は身体的に不都合なことはない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	82	18	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	55	45	振り返りや目標設定が曖昧と思う。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	64	36	保護者の声を聴いて、改善につなげていると思う。保護者の意向は周知されていないと思うことがある。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	82	18	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	55	45	モニタリングシートを使って行っている。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100	0	研修の機会を何度かに分け、行う中で考えを共有できている。もう少し研修を増やしてほしい。
適切か	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	73	27	行なう時間やタイミングがない。施設として行っている。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	55	45	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	73	27	必要な支援などは資料等で確認し、職員間で話し合いながら支援している。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	82	18	児童の姿や情報を元に支援している。

支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	82%	18%	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	91	9	月毎に決め、特に休日は1日の流れが固定化しないように気をつけている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100	0	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	82	18	勤務時間がそれぞれ違うため、必ず打合せを行うのは難しいため、日割りや管理日誌を元に動きを考えている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	64	36	全員で打ち合わせをするのは難しいため、気づき等は管理日誌にて情報共有している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100	0	管理日誌や個別ファイルに毎日記録し、検証・改善につなげている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	64	36	業務に追われ、遅れがちになることがある。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	91	9	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	91	9	その都度、必要に応じて児童相談所等と連携をとっている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	82	18	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	73	27	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100	0	必要時応じ、行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100	0	電話や訪問にて情報共有できている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	91	9	必要に応じ、連携し助言を頂いている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	100	0	障がいのない児童も受け入れているため、日々交流できている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	64	36	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	91	9	気になることは共有できるように連絡ノートやお迎えの時などに話をするように心がけている。

保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	36%	64%	行なえていない。 よく分からない。今後、学んでいきたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	91	9	事前に説明し、同意を得たうえで利用してもらっている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100	0	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	91	9	相談があった際には、その都度対応している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	18	82	ｺｺ感染症のためできていない。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	91	9	保護者からの相談や申し入れには、その都度対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	91	9	会報や月の予定表を作成し、保護者に配布している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100	0	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	91	9	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	91	9	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	45	55	マニュアルはあるが、あまり活用できていない。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	0	100	ｺｺ感染症のためできていない。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	82	18	関連機関より情報を事前に貰い、確認している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	82	18	対象の児童はいない。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	91	9	ヒヤリハットを全職員が確認し、共有できている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	64	36	虐待防止に関する研修を行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	82	18	対象の児童はいない。